



《あらたな発見があるかも！》

樫井川河口域の生き物調査の案内

2024.5.15

今年度の生き物調査は今回の(樫井川河口)と9/19(近木川河口)の2回行う予定です。
樫井川河口域ではごろごろ石の干潟と砂浜(アマモが生えている)で生き物採集します。
干潮時、砂浜から少し離れた場所に現れる砂地でマテガイを捕獲できるかも。
今回も貝塚市立自然遊学館・山田先生と児島先生にご指導いただきます。
なお、当調査は実習認定行事としておりますのでよろしくお願いいたします。

(案内担当 秦 ・ 実習生担当 福嶋昭)

記

*月 日：2024年6月6日(木)

*集 合：10:10 南海本線 岡田浦駅改札出口



参考《9:15 南海難波駅→(空港急行)→9:45 貝塚駅 のりかえ 9:46 貝塚駅→(普通)→10:01 岡田浦駅》

*持ち物：飲み物 弁当 敷物 濡れてもいい履物(サンダルは良くない) 軍手、タオル、
持ち帰っている熊手などの採取道具、同定用図鑑 ※

マテガイ捕獲に挑戦される方は、スコップ、塩、入れ物と保冷剤
帽子など暑さ対策は十分に。またアマモ場で生き物採集をする際に
ヒザあたりまで海水につかる可能性アリ、対応できる服装がよい。

*行 程：10:15 岡田浦駅から徒歩(20分)で海岸へ

10:35 海岸着 トイレ有(徒歩3分) 樫井川河口干潟へ移動

10:40 実習生の紹介 採集準備 先生方から上手な採取方法のアドバイス

11:00 ~11:50 採集 貝類、甲殻類等に分けて保管

11:50 砂浜(アマモ場)へ移動 干潟の収集生物、個々の荷物もいっしょに

12:00 ~13:00 採集(タモ網などで) 保管は干潟の収集生物と一緒にしない

13:00 昼食

13:30 同定開始 各グループで担当種の同定 名札を作成し記録 必要に応じて写真撮影

(担当) 参加人数一番多いグループ → 甲殻類・棘皮動物・さかな・・・)

参加人数二番目 グループ → 巻貝

参加人数三番目 グループ → 巻貝以外の貝(二枚貝 カサガイ・ヒザラガイ・・・)

(名札、記録紙、ペンはこちらで用意します)

14:30 山田先生(甲殻類担当)・児島先生(貝類担当)から正しい名前と見分け方のポイントの
解説をいただく。

成果発表と片付け 収集生物を戻す 実習生から感想 先生方からの総評 集合写真撮影
徒歩にて岡田浦駅へ 15:30 頃(解散)

時刻表 難波方面 15:27 15:39 15:57 16:09 16:27 16:39 16:57



樫井川河口干潟



砂浜 アマモ場

★ 6/6 大阪湾干潮時刻 12:46

※ 同定に役立つ図鑑

『大阪湾男里川・近木川河口周辺に生きる貝』、『近木川干潟再生地(汽水ワンド)の生き物たち』
『泉南三河河口域 生き物調査一覧』(福嶋昭治さんまとめ)

◎天気予報で現地の降雨確率が50%以上の時は中止とします。前日にメールでお知らせします。